

東京民研・都教組共同学習集会

「小学校英語教育、道徳教科化、チーム学校、オリ・パラと、次々と課題が下りてくるけれど????」

「もっとゆっくりに…、たっぷり時間をかけて、“本当に必要なこと”や“大切な教科の学習”を進めたいのに…」

「アクティブ・ラーニング」って子どもは伸びていくの？
それでみんなが“わかる喜び”を感じることができるの？

新学習指導要領の示す子ども像、社会像の問題を明らかにし、
本当の教育をみんなでつくっていくための学習会

日時 2017年2月5日(日)10:00~16:30

場所 エデュカス東京 4F会議室にて

★JR「市ヶ谷」「四ツ谷」駅7分

★地下鉄有楽町線「麹町」駅5番出口2分



(午前の部) 10:00~12:30

◆問題提起 1

「子どもたちに学ぶ楽しさを 教師に教える喜びを」

小佐野 正樹さん (東京民研理科部会)

◆問題提起 2

「新学習指導要領全体の構図—教育のあり方・目的が大転換させられる」

石山 久男さん (子どもと教科書全国ネット 21)

(午後の部) 13:30~16:30

◆報告と討論

「私はこう思う」「本当はもっとこうやってみたいのに、指導要領による“型”の強制はおかしい…」など、率直に意見を交換しましょう。

◆学習集会実行委員会による「討論のまとめ」

「子どもたちのために全都で声を上げよう。そのために今できること」

「学習集会」への参加を心から呼びかけます

「何回指導案を提出しても本質的とは思えない直しを要求され、毎日12時を回ってしまう。まるでブラック企業」と話す同期の仲間。

「次の日曜日に、生徒会で地域の行事に協力してもらえない?」「若いもんは、部活顧問として休日の試合はよろしくね」「面談が入っていても、悉皆の研修が優先だよ」等など簡単に仕事や研修が下りてきて、学校現場は超多忙。

休日出勤が当たり前になってきています。じっくり子どもと向き合い、子どもにあった教材を工夫したり考えたりする時間は、通常の勤務時間内にはまったくないといっても過言ではありません。

「こんな出張研修ばかり多くて、しかも型通りの報告書を求める教育委員会・・・、これで教員の質が上がる???」

「このままでは、みんなくたびれて、なんでもYESっていうロボットになるだけじゃないかな」

「なんか怖い・・・」と、感じるのは私だけではないと思います。

様々な指示が管理職から下されるだけの職員会議、結局は管理職の言う通りに書き直させられる「自己申告」の在り方も、新採以来ずっと納得できませんでした。

先日職場で、アクティブ・ラーニングの研修が行われましたが、誰も何も発言せず研修が終わりました。先取りの研修が進められている新『学習指導要領』にも、間違っているところもあるかもしれません。タブーなく、子どものことを考えて最善を尽くすのが教育ならば、もっと自由に意見が交わされるのが本来の学校での“研修”なのではないでしょうか。

今、実行委員会で準備を進めている2月5日の東京民研・都教組の学習集会は、自由に感じたことや考えていることを話せて、目の前の子どものことが話題の中心になる“研修会”にしたいと思っています。だから、どんなに疲れていても、元気をもらって次の週が迎えられたいと思います。ぜひ仲間を誘って、参加してください。

(「学習集会」青年実行委員)

エデュカス東京への地図



★JR「市ヶ谷」「四ツ谷」駅7分

★地下鉄有楽町線「麴町」駅5番出口2分